

2018 年度事業報告

【概要】

2018 年度は、i) 計量思想の普及と振興、ii) 計量検査関連事業、iii) 計量技術・知識向上のための研修会、講習会開催、iv) 部会活動推進事業の 4 事業を中心に実施した。

事業の大半を占める京都府、京都市の受託事業は、府・市の指導の下、計量法に基づき、適正かつ公正に検査を実施した。また、協会一般事業は、会員、府民、市民への計量啓発活動を中心に、各部会にて積極的な事業活動を展開した。

なお、当年度は、2018 年度（平成 30 年度）から 3 年間にわたる指定定期検査機関として定期検査を実施する最初の年度となる。

【1】 計量思想の普及と振興

1. 京都府計量協会計量功労者表彰（協会理事長表彰）

平成 30 年 6 月 13 日(水)、平成 30 年度定時社員総会に引き続き、(一社) 京都府計量協会「計量功労者表彰式」が御所西京都平安ホテルに於いて行われた。各部会の推薦を受け、長年にわたって計量の発展に寄与された 19 名の方に、黒田理事長から表彰状と記念品が授与された。



受賞者を代表して株式会社環境総合リサーチの山口正昭氏が謝辞を述べられた。

受賞者に対し、ご来賓の京都府計量検定所長 山口豊己様から、「より一層ご精進いただき、計量業界の発展、ご活躍を期待します」と期待と励ましのお言葉がありました。また、京都市産業観光局産業企画室長 武田淳様から、「皆様は社会の取引の安心感や信頼感を支える大切なものを守っておられることに敬意を表します」とお祝いの言葉がありました。

2. 京都府計量功労者表彰（京都府知事表彰）

平成 30 年 11 月 30 日(金)、京都ガーデンパレスにて、平成 30 年度「京都府中小企業関係定例表彰並びに京都府計量功労者表彰式」が開催され、西脇隆俊京都府知事から受賞者に表彰状と記念品が授与された。計量功労者等表彰部門では、当協会から 3 名が表彰の栄誉に輝いた。

＜計量功労表彰受賞者（順不同）＞

谷水 弘治 (株)島津製作所

中川 喜勝 (株)イシダ

村上 重一 (株)京山



表彰式に引き続き、西脇隆俊京都府知事が受賞者の長年に亘る貢献に対する敬意と労いの言葉を述べられた後、「来年 3 月京都経済センターがオープンする。ここを核として人材、ベンチャー育成、事業承継支援に取り組む。計量分野では、国際化する中で、基準の見直しが行われている。京都経済、産業を支えていくため計量行政分野においても重要性が増したと認識している」旨のご挨拶がありました。

3. 瑞宝双光章受章

平成 30 年 11 月 1 日(木)付で、西田 貢氏（元京都府計量検定所長）が瑞宝双光章（高齢者叙勲）を受章されました。



4. 経済産業大臣表彰（計量関係功労者）

平成 30 年 11 月 1 日(木)、インターコンチネンタル東京ベイで開催された「平成 30 年度計量記念日全国大会」において、増田典氏（副理事長）が経済産業大臣表彰（計量関係功労者）を受賞された。また、受賞者を代表して、謝辞を述べられた。



5. 京都府計量検定所共催「夏休み親子計量教室」

京都府計量検定所と共催による「夏休み親子計量教室」が、8 月 20 日(月)～21 日(火)の 2 日間にわたり京都府計量検定所にて開催された。小学生を対象に募集を行い合計で 29 組 67 名の参加者があった。

検定所にて、タクシーメーター装置検査の見学、500kg 分銅や大型はかりの説明、各種はかりの操作体験などの後、レタースケールの工作や重さ当て計量クイズにチャレンジし、自作のはかりやクイズの景品などたくさんのお土産とともに「楽しかった」と笑顔で帰路につかれた。検定所の施設の紹介や実習、工作を通じて楽しみながら子供たちが計量について興味を持って学んでもらい、保護者など大人にも計量への関心を高めてもらえる有意義な事業であると再認識しました。



6. 「市町村消費生活展等」への協賛参加

京都府計量検定所は、各市で行われる消費者まつりに参加し、計量に関する展示ブースを開設している。平成 30 年度の開催地は以下の通り。

11 月 3 日(土) 城陽市消費生活展（文化パルク城陽）

11 月 17(土)～18 日(日) 向日市まつり（向日町競輪場）

11 月 18 日(日) 京田辺市消費生活展（田辺中央体育館）

京都府計量検定所が消費者保護に重点をおいて行う計量器の検定・検査・立入調査などについて知ってもらうこと、暮らしが計量と密着し、暮らしの安定、向上に役立つ計量の普及、啓発事業で、当協会も協力参加。計量関係のパネル展示、ガスメータ、水道メータのカットモデル展示、計量法等に関するアンケート、おはじきを用いた計量チャレンジを行った。城陽市消費生活展への参加は初めて。11 月 4 日(日)に予定されていた「あやべ産業まつり」は 7 月豪雨災害の影響により開催中止となった。一方、平成 30 年より宇治市消費者まつりは廃止されたが、5 月 14 日(月)～16 日(水)、宇治市役所本庁舎に、京都府計量検定所がパネル等を展示された。



7. 京都市共催「計量の図画・ポスター展」開催



第 48 回まで京都市計量検査所が計量月間事業として主催していた「計量の図画・作文展」を、第 49 回より京都市共催と京都市教育委員会後援を得てタイトルを変えて開催、今年度は第 51 回を迎えた。京都市内の小学生、中学生約 5,000 名が描いた作品の中から 1,500 点(65 校)を超える作品が選定され提出いただいた。





11月23日(金・祝)～24日(土)、ゼスト御池地下街にて「第51回計量の図画・ポスター展」を開催。審査会において選ばれた市長賞3名へ京都市産業観光局の上田局長より、京都府計量協会理事長賞9名へ黒田理事長より表彰状および記念品が贈呈された(表彰式11/23)。金賞、銀賞の作品と合わせ計351点の作品の展示を行った。会場では、例年通り会員企業様のご協力を得て、計量器の展示、計量の重さあてクイズ、棒はかりの工作等のコーナーを設けた。来場の児童数約260名、そのご家族様ら約1,000名の来場者があった。



8. 第10回定時社員総会の開催

平成30年6月13日(水)、御所西京都平安ホテルに於いて第10回定時社員総会が開催された。京都府計量検定所所長 山口豊己様、京都市産業観光局産業企画室長 武田淳様をご来賓として迎え、46名の会員が出席し、委任状を含めて総会の成立を確認後、黒田理事長の議長選任、議事録署名人承認を経て、審議に入り、すべての議案が承認された。

- 第一号議案 平成29年度事業報告
- 第二号議案 平成29年度収支決算報告・監査報告
- 第三号議案 平成30年度事業計画(案)
- 第四号議案 平成30年度収支予算(案)
- 第五号議案 定款の一部変更(案)
- 第六号議案 役員の一部改選(案)



総会閉会后、京都府計量検定所所長 山口豊己様ならびに京都市産業観光局産業企画室長 武田淳様から、協会への感謝と期待のお言葉をいただいた。

9. 京都府計量協会「年賀交歓会」の開催

平成31年「年賀交歓会」が、平成31年1月9日(木)、Fortune Garden 京都で開催された。ご来賓として、

- 京都府商工労働観光部 副部長 近藤健司様、
- 京都府計量検定所 所長 山口豊己様、
- 京都市産業観光局産業企画室 室長 武田淳様、
- 同 産業プロジェクト推進課長 菅野周二様、
- (一社)滋賀県計量協会 理事長 田中秀康様、
- (一社)大阪府計量協会 理事長 藤田眞弘様、
- (一社)大阪府計量協会 理事兼事務局長 森下眞也様、
- 株式会社日本計量新報社 代表取締役社長 横田俊英様

にご臨席いただき、新年の門出を祝って51名の方々が参加、黒田理事長の挨拶のあと、ご来賓のご祝辞をいただいた。



引き続き、平成30年度計量標語優秀作表彰式を行った(今年度が初めて)。優秀作は6点で、その功を称えて黒田理事長から賞状が授与された(5名出席、1名欠席)。

続いて、滋賀県計量協会理事長 田中秀康様から新年を祝って乾杯のご発声があり、高齢者叙勲を受けられた西田様、大臣表彰を受けられた増田副理事長はじめ知事表彰受賞者のひとことなど、和やかでかつ有意義な時間を過ごし、新年の門出を祝いました。

10. 近畿計量大会（奈良県）参加

平成 30 年 11 月 16 日(金)、奈良ホテルにて近畿計量大会が開催された。阿部一貴経済産業省計量行政室長を含め 14 名の来賓を迎え、約 250 名の計量関係者が集い、京都府計量協会からは、黒田理事長以下 30 名が参加した。



堀本文男奈良県計量連合会会長の開会挨拶に続き、阿部一貴経済産業省計量行政室長、荒井正吾奈良県知事ならびに仲川げん奈良市長から祝辞をいただいた。

記念講演は、第 1 部「最近の計量行政について」（経済産業省計量行政室長 阿部一貴氏）、第 2 部「奈良ホテル 109 年の歩み」（奈良ホテル取締役副総支配人 辻利幸氏）、第 3 部「これからの生き方」（薬師寺長老 山田法胤氏）が行われた。

講演終了後、次年度開催県である滋賀県計量協会理事長 田中秀康氏が来年度招致に向けて抱負を述べられた。

11. 「京都計量ニュース」の発行

平成 31 年 1 月 9 日開催の京都府計量協会、新年年賀交歓会にあわせて「京都計量ニュース」第 10 号を発行した。年賀交歓会出席者に配布すると共に、後日、当計量協会会員全員、他府県計量協会等関係者に配布した（発行部数 400 部）。

12. 計量に関する講習会、研修会の開催・・・【3】の項参照

13. ホームページによる事業活動の PR と情報開示の実施

ホームページを利用して当協会の紹介、事業告知や、定期検査日程の情報開示を充実させ、計量活動の啓発に努めた。



【2】 計量検査関連事業機関としての事業活動

1. 平成 30 年度京都府受託業務

平成 30 年度から 3 年間にわたる指定定期検査機関として定期検査を実施する初年度にあたり、京都府指定定期検査機関、京都府指定計量証明検査機関として実施した特定計量器定期検査業務量および検定補助業務実績量は下記のとおりである。

(1) 検定に係る観測業務（検査個数）

	平成 30 年度	平成 29 年度
タクシメーター装置検査	8,653	8,902
燃料油メーター	30	27
質量計	76	66

(2) 基準器検査に係る観測業務（検査個数）

	平成 30 年度	平成 29 年度
基準分銅	976	1,186
基準タンク	4	10
タクシメーター装置検査用基準器	0	1
その他(基準台手動はかり)	2	0

(3) 定期検査業務（検査個数）

	平成 30 年度	平成 29 年度
はかり, 分銅・おもり	10,201	11,086

(4) 計量証明検査業務（検査個数）

	平成 30 年度	平成 29 年度
質量計	5	21

(5) 実用基準分銅の質量調整・自主検査（検査個数）

	平成 30 年度	平成 29 年度
分銅	2,407	2,387

2. 平成 30 年度京都市受託業務（事前調査業務）

定期検査に先立ち、市内対象ユーザーの現状（営業中・移転・休業・廃業）の調査を行った。訪問調査を含めて調査件数は、2,532 件（前年度 2,802 件）であった。

3. 日本郵政グループの計量管理業務受託事業

平成 30 年度も京都府内に所在する日本郵政グループ事業所の計量管理業務を（一社）日本計量振興協会（以下、「日計振」）から受託した。検査従事計量士は、日計振の検査資格を有する所属計量士 8 名である。平成 30 年度は、6 月から 11 月にかけて、府内にある郵便局、簡易局および旧集配センター合計 244 局に配置された特定計量器（はかり）の検査を実施し、日計振に報告した。特段の問題もなく検査は、無事終了した。

4. 適正計量管理事業所の計量管理業務受託事業

計量管理業務委託契約を締結している適正計量管理事業所で、計量器の検査および管理業務を実施した。

5. 代検査事業

当該年度の定期検査未受検はかりの解消のために代検査を実施した。

6. コンプライアンスへの取り組み

平成 21 年の協会発足時、京都府からの指定定期検査機関としての業務を受注するにあたり、法令遵守を担保する観点からコンプライアンス委員会を設置し、理事会の運営に関する助言を行う立場で運営されている。

今年度は、平成 30 年 10 月 9 日（火）、京都府計量検定所会議室にて、コンプライアンス委員 3 名および当協会理事長、副理事長 1 名、事務局 1 名の計 6 名で、平成 29 年 9 月から平成 30 年 9 月までの協会の運営状況について確認・意見交換等を行った。

京都府計量検定所 山口所長にもご出席いただき、冒頭、「協会は法令に基づく指定機関としてまた府からの委託業務を行っており、関連法令も多く準公務員としてふるまうことが要求される。個人の倫理観だけでなく不正が行われない組織としての仕組みが必要」と述べられた。続いて、協会の事業、状況等についての確認が行われ、特に問題なく遂行している事が確認された。

7. 器差検定を中心とした指定検定機関への取り組み

計量法政省令改正において、自動はかりが特定計量器に指定され、自動はかり（自動捕捉式はかり）の検定制度が開始（2019 年 4 月～）された。1 年遅れて、自動はかり 3 器種（ホッパースケール、充填用自動はかり、コンベヤスケール）の検定制度が開始（2020 年 4 月～）される。法令等の経緯と当協会の対応状況はつぎのとおり。

<法令等>

- 2016/11/1 : 計量行政審議会答申「今後の計量行政の在り方－次なる 10 年に向けて－」
2017/9/22 : 「計量法施行規則の一部を改正する省令」等公布、施行日は様々
2018/3/30 : 「計量法施行規則の一部を改正する省令」等公布
「指定定期検査機関、指定検定機関、指定計量証明検査機関及び
特定計量証明認定機関の指定等に関する省令の一部を改正する省令」
→ 検定管理責任者が産総研の実施する講習を修了した旨を記載した書類、を追加
2018/8/20 : 自動捕捉式はかり [JISB7607] 公示
2018/9/7 : 「指定検定機関指定の申請の考え方 (第 1 版)」
2018/9/28 : 指定検定機関講習 (自動はかり: 自動捕捉式はかり) 受付 (～10/17)
研修日: 12/11～12/13 定員: 20 名→13 名 (メーカー 9、計量団体 4)
2018/10/10 : 「指定検定機関等が有すべき技術的能力の基準
(電気計器に係る場合を除く。) についてのガイドライン」
2018/11/20 : 「指定検定機関の申請書類の手引 (第 1 版)」
2018/11/30 : 「指定検定機関指定の申請の考え方 (第 2 版)」
2019/4/1 : 産業技術総合研究所が行う場合の検定手数料制定 (自動捕捉式はかり)

<一般社団法人京都府計量協会>

- 特定計量器の種類 : 自動捕捉式はかり
地域ブロックの区分 : ④近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫)
検定管理責任者 (常勤) : 産業技術総合研究所が実施する指定検定機関講習を 1 名修了

【3】 計量技術・知識向上のための研修会、講習会および情報交換事業

1. 計量士部会夏期例会 (平成 30 年 5 月 12 日(土)、於御所西平安ホテル)
⇒【4】 5. 部会活動推進事業 (計量士部会) の項参照
2. 環境計量士交流会 (平成 30 年 6 月 8 日(金)、平成 31 年 1 月 10 日(木))
⇒【4】 4. 部会活動推進事業 (環境計量証明部会) の項参照
3. 計量・計測業務担当者のための研修会 (平成 30 年 6 月 27 日(水)、於京都府計量検定所)
⇒【4】 2. 部会活動推進事業 (計量管理部会) の項参照
4. 主任計量者講習会 (平成 30 年 9 月 7 日(金)、10 月 12 日(金)、平成 31 年 2 月 8 日(金))
⇒【4】 3. 部会活動推進事業 (計量証明部会) の項参照
5. 中小企業向け測定基礎研修会
(平成 30 年 9 月 14 日(金)、平成 31 年 3 月 4 日(月) 日計振共催)
⇒【4】 5. 部会活動推進事業 (計量士部会) の項参照
6. 計量士部会冬期例会 (平成 31 年 1 月 9 日(水)、於 Fortune Garden 京都)
⇒【4】 5. 部会活動推進事業 (計量士部会) の項参照
7. 食品表示に関する研修 (平成 31 年 1 月 10 日(木)、於京都府計量検定所)
⇒【4】 2. 部会活動推進事業 (計量管理部会) の項参照
8. 分銅の自主校正講習会 (平成 31 年 1 月 29 日(火)、於京都府計量検定所)
⇒【4】 5. 部会活動推進事業 (計量士部会) の項参照

【4】 部会活動推進事業

各部会が実施する講習会・研修会等の事業に積極的に協力すると共に、部会間交流の機会を増やし、協会会員の共通意識を高めることに努めた。

1. 計量器工業部会

(1) 講演会の開催（平成 30 年 4 月 27 日(金) 於京都タワーホテル）

昨年同様、総会終了後、計量証明部会との共催で講演会を開催（聴講 33 名）した。

講師に、近江屋ローブ(株) 代表取締役社長 野々内達雄氏をお迎えし、「本当の事業承継とは」と題して、業歴 200 年以上の老舗、近江屋ローブ(株)の 8 代目社長として、事業継続の苦労話や秘訣などを交えたお話をお聞かせいただいた。



(2) 見学会の開催（平成 30 年 12 月 20 日(木)）

環境計量証明部会と共催でアサヒ飲料(株)明石工場、赤穂化成(株)本社・赤穂工場、灘菊酒造(株)を 25 名で訪問した。

アサヒ飲料明石工場は、1990 年に操業開始、年間約 5,000 万ケースを製造、ペットボトル飲料や缶飲料などの製造工程をガラス越しに見学した。赤穂化成は、塩やニガリを中心とした無機ミネラルの総合メーカー、海洋深層水などの新事業も展開、「赤穂の天塩」の製造、包装ライン、分析・研究施設を見学した。帰路、姫路の灘菊酒造(株)を見学した。



(3) 計量器工業部会総会の開催（平成 30 年 4 月 27 日(金)）

京都タワーホテルにて計量器工業部会総会が開催された。下川宏行部会長が議長となり下記の 5 議案について審議がなされ、すべて異議なく承認された。

- 第一号議案 平成 29 年度計量器工業部会事業報告
- 第二号議案 平成 29 年度計量器工業部会収支決算報告
- 第三号議案 平成 30 年度計量器工業部会事業計画（案）
- 第四号議案 平成 30 年度計量器工業部会収支予算（案）
- 第五号議案 平成 30 年度計量器工業部会理事長表彰者推薦（案）

2. 計量管理部会

(1) 計量・計測業務担当者のための研修会（於京都府計量検定所）

平成 30 年 6 月 27 日(水)、京都府計量検定所会議室にて参加者 20 名で開催した。主に適正管理事業所で計量・計測業務に携わっている実務担当者や新入社員を対象に計量管理の基礎知識の習得を目的に開催。講師には、京都府計量検定所 菊池宗平副主査、当協会計量士部会の河原紀男氏、吉川勲氏を迎え、下記項目で研修した。

- ・ 計量法の概要、商品量目について
- ・ ISO 9001(2015 年版)と計量管理について
- ・ 計量・計測の基本と精度（不確かさ）について



(2) 計量管理担当者のための食品表示に関する研修（於京都府計量検定所）

平成 31 年 1 月 10 日(木)、京都府計量検定所会議室にて参加者 23 名で開催した。食品表示法が 2015 年 4 月 1 日に施行され、生鮮食品についてはすでに食品表示法の内容を満たしている必要があり、加工食品等においては 5 年の経過措置期間が目前に迫っている。食品製造業や流通業における食品表示の重要性を鑑み企画した研修会で、内容は以下のとおりで、事前に質問を受け、当日講師からご回答いただいた。

講師：株式会社イシダ 商品企画部 主査 伊藤 渉 氏

- ・食品表示法の概要
- ・新制度での変更のポイント（アレルギー表示・栄養成分表示・製造所固有記号の使用条件など）
- ・生鮮食品における表示の注意点
- ・加工食品における表示の注意点
- ・質疑応答



(3) 平成 30 年度「計量標語」入選作

京都府が実施する平成 30 年度「計量月間」への協力を兼ねて、当年度も計量管理部会が主催で「平成 30 年度計量標語」事業を実施した。当年度は、会員事業所 13 社から 138 点の応募があった。平成 30 年 8 月 8 日(水)、計量管理部会役員会を開催し、京都府計量検定所所長山口豊己様を迎え審査を行い、優秀作 6 点と佳作 18 点、ユニーク賞 1 点が選出された。優秀作 6 点は、京都府によりステッカー化され、計量月間に合わせて府内の計量管理事業所に配布された。



平成 30 年度計量標語 優秀作（敬称略、順不同）

賞	分野	標 語	作者	所属企業
優秀作	製造等	真剣に計るその目に 未来が見える	岸原 弘之	(株)島津製作所
		信頼築くひと目盛 忖度無しの計量管理	森川 綾香	ジャパンマリンユナイテッド(株)
		進歩の裏には技術あり、技術の陰には計量管理	坂根 真志	(株)高倉有光社
	流通	お客様との きずなもはかる 適正計量	團 涼太	(株)ジェイアール西日本伊勢丹
		「ありがとう」の気持ちをプラス量り売り	田中 朋子	(株)大丸松阪屋百貨店 大丸京都店
		「信頼」を 得るも奪うも 1g	佐々木 恵美理	(株)高島屋 京都店

(4) 計量管理部会役員会・総会の開催

平成 30 年 4 月 18 日(水)に京都府計量検定所にて役員会を開催し、総会議案書(案)、理事長表彰推薦者が承認された。

平成 30 年 6 月 13 日(水)、御所西京都平安ホテルにて、計量管理部会総会が開かれた。出席者は 11 名、坪内部会長が議長となり、下記議案について審議し、下記 5 議案はすべて異議なく承認された。

第一号議案	平成 29 年度計量管理部会事業報告
第二号議案	平成 29 年度計量管理部会収支決算報告
第三号議案	平成 30 年度計量管理部会事業計画(案)
第四号議案	平成 30 年度計量管理部会収支予算(案)
第五号議案	平成 30 年度計量管理部会役員交代(案)

3. 計量証明部会

(1) かわら版の発行

平成 30 年 7 月に 34 号、平成 31 年 1 月に 35 号を発行し、関係先に配布した。

(2) 平成 30 年度主任計量者講習会

* 計量管理者として登録簿に記載されている方は、5 年毎に主任計量者講習会を受講しなければ計量管理業務が行えませんので必ず受講してください。

第 1 回：平成 30 年 9 月 7 日(金)に京都高等技術専門校にて、
13 名の受講者

第 2 回：平成 30 年 10 月 12 日(金)に福知山市民交流プラザにて、
2 名の受講者

第 3 回：平成 31 年 2 月 8 日(金)に京都高等技術専門校にて、
6 名の受講者

今年度も受講対象の協会員以外にも案内し、合計 9 名の会員以外の受講者があった。

* 2019 年度の予定は、第 1 回(9 月 6 日)、第 3 回(2020 年 2 月 7 日)に京都職業訓練校にて、第 2 回(10 月 11 日)に市民交流プラザふくちやまにて開催します。

(3) 平成 30 年度理事会(3 回)

- ・ 第 1 回：平成 30 年 12 月 2 日開催、30 年度決算見込み、総会までの活動予定と増田会長が大臣表彰、村上事務局長が知事表彰の受賞報告をした。
- ・ 第 2 回：平成 31 年 1 月 26 日開催、京都東急ホテルにて開催、計量管理者証の現在までの発行枚数と、今後の発行方法を見直し、検討することとした。決算見込みの報告を行った。
- ・ 第 3 回：31 年 4 月 24 日京都タワーホテルにて総会前に開催、第 52 回総会議案書の説明と承認を行った。

(4) 平成 30 年度 京都府計量証明事業協会 通常総会

平成 30 年 4 月 27 日(金)に第 51 回通常総会が京都タワーホテルにて開催された。下記議案について審議され、すべて承認された。総会終了後、計量器工業部会と合同で講演会、懇親会を行った(計量器工業部会の項参照)。

第一号議案	平成 29 年度事業報告
第二号議案	(1) 平成 29 年度収支決算報告(2) 会計監査報告
第三号議案	剰余金処分(案)
第四号議案	平成 30 年度事業計画(案)
第五号議案	平成 30 年度収支予算(案)

(5) 日本計量証明事業連合会関係

- ・ 通常総会：平成 30 年 5 月 23 日（水）K K R 東京にて開催。村上事務局長が代理出席
- ・ 理事会：平成 30 年 11 月 22 日（木）ハートンホテル京都にて開催。京都府計量検定所山口所長、京都府計量協会黒田理事長が来賓にて出席、村上事務局長が代理出席した。

(6) 京滋計量証明事業者合同役員会

平成 30 年 10 月 3 日（水）ホテルボストンプラザ草津で、両府県検定所所長をお招きし、13 名の出席者で現状の課題等を話し合った。



4. 環境計量証明部会

当年度も『環境計量士交流会』を 2 回開催した。会員各社が技術向上を目的に実施する『共同実験』は、滋賀県計量協会の環境計量証明部会と共同で実施し、交流を深めている。また、親睦行事である『京環協・第 14 回ソフトボール&BBQ 大会』を開催し、計量器工業部会と共催で『見学会』も実施した。

(1) 平成 30 年度共同実験総合討論会

- ・ 開催：平成 30 年 11 月 30 日(金)、於(一社)近畿建設協会 京滋支所
- ・ 参加者：来賓 2 名、討論会 32 名、交流会 24 名（滋賀県含む）
- ・ 共同実験参加機関：16 機関（京環協 8 機関、滋賀県単 8 機関）
- ・ 来賓：京都府保健環境研究所 水質課 大脇 成義 課長
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 佐々木勝司 副主査
- ・ 共同実験テーマ：全りん(試料検液は 2 種類)
※ 討論会終了後、交流会を開催し、若手を中心に親睦を深めた。

(2) 第 48 回環境計量士交流会

- ・ 開催：平成 30 年 6 月 8 日(金)、於ホテルルビノ京都堀川
- ・ 出席者：来賓 6 名、交流会 52 名、懇親会 44 名
- ・ 来賓：京都府計量検定所 山口 所長
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 久野 課長
京都府保健環境研究所 水質課 大脇 課長
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 佐々木 副主査
京都府計量検定所 指導課 河村 主査
京都府計量検定所 指導課 高木 技師
- ・ テーマ：講演Ⅰ：「宇宙エレベーター建設構想」
講師：(株)大林組 宇宙エレベーター要素技術実証研究開発チーム 幹事 石川 洋二 様
講演Ⅱ：「京都府計量検定所からの連絡事項」
講師：京都府計量検定所 指導課 高木 技師
※ 終了後、懇親会（参加者 43 名）を開催し懇親を深めた。



(3) 第 49 回環境計量士交流会

- ・ 開催：平成 31 年 1 月 10 日(木)、於ホテルルビノ京都堀川
- ・ 出席者：来賓 4 名、交流会 30 名、懇親会 31 名
- ・ 来賓：京都府計量検定所 山口 所長
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 久野 課長

京都府計量検定所 指導課

河村 副主査

京都府計量検定所 指導課

高木 技師

- ・ 講演 1 : 「私がダニを愛したわけ」

講師：研究開発法人国立環境研究所
生態リスク評価・対策研究室長
五箇 公一様



- 講演 2 : 「京都府計量検定所からの連絡」

講師：京都府計量検定所 指導課 技師 高木 亮 様

(4) 平成 30 年度施設見学会

本年度も計量器工業部会との共催で、アサヒ飲料(株)明石工場、赤穂化成(株)、灘菊酒造(株)を見学した。計量器工業部会の項を参照。(環境計量証明部会から 8 名参加)

(5) 第 14 回親睦ソフトボール・バーベキュー大会

当日は快晴に恵まれ、汗ばむ陽気の中での大会となった。

BBQ では珍しい生ビールサーバーが定番となり、今年も大人気でした。

日時：平成 30 年 10 月 21 日(日)

場所：G S ユアサ 田辺グラウンド

参加者：ソフトボール 83 名、BBQ 129 名



5. 計量士部会

(1) 計量思想普及事業

計量思想普及事業を推進するため下記の事業を実施した。

- i) 京都府、京都市の計量行政施策の事業に協力した。
- ii) 「夏休み親子計量教室」(平成 30 年 8 月 20~21 日 京都府計量検定所)に協力参加
- iii) 「京都府市町村まつり」(平成 30 年 11 月 3 日、17~18 日)に協力参加。
- iv) 「第 51 回記念 計量の図画展」(平成 30 年 11 月 23~24 日開催)に協力参加
- v) 計量管理部会の標語募集事業を支援(平成 30 年 8 月 8 日選考委員会で優秀作・佳作が選ばれ優秀作は京都府に推薦された)。

- 1) 計量管理部会主催「計量・計測業務担当者のための研修会」の開催運営に協力し、講師を務めた。(平成 30 年 6 月 27 日(水)、於京都府計量検定所会議室、受講者 20 名)

講 師： 京都府計量検定所 菊池副主査、計量士部会 2 名

テーマ： 「計量法の概要、商品量目について」(講師：京都府計量検定所)、

「ISO 9001(2015 年版)と計量管理について」

「計量・計測の基本と精度(不確かさ)について」(講師：部会員)

- 2) 日本計量振興協会と京都府計量協会共催の「中小企業向け測定基礎研修会」を計量士部会が主体で運営し、講師を務めた。平成 30 年 9 月 14 日(金)(於京都府計量検定所会議室、受講者 16 名)と平成 31 年 3 月 4 日(月)(於京都府計量検定所会議室、受講者 13 名)の 2 回開催した。中小製造業等への「測定技術の実務教育及び計量管理の普及」を目的とした研修会。

内容： 測定の基礎、ノギス、マイクロメータ、ゲージ類、質量とはかり、温度と熱電対・測温抵抗体、ISO 9001 と計量管理



(2) 部会総会及び部会役員会

部会総会 1 回及び部会役員会 2 回開催し、事業計画・予算・運営実施事項の検討、協議を行った。

- 1) 平成 30 年度第 1 回役員会開催 (平成 30 年 4 月 18 日(水))
 - ・ 平成 29 年度事業報告と決算案の検討
 - ・ 平成 30 年度事業計画と予算案の検討
 - ・ 夏期例会テーマ等の検討
- 2) 平成 30 年度計量士部会定時総会開催 (平成 30 年 5 月 12 日(土)、出席 22 名)
 - ・ 平成 29 年度事業報告
 - ・ 平成 29 年度決算報告
 - ・ 平成 30 年度事業計画
 - ・ 平成 30 年度予算
- 3) 平成 30 年度第 2 回役員会開催 (平成 30 年 8 月 8 日(水))
 - ・ 冬期例会の日程・内容についての検討
 - ・ 今後の研修会の内容について検討
 - ・ 入会について



(3) 計量士部会例会

計量分野の動向や部会々員相互の技術等の情報交換と親睦を深めるため、夏期例会(定時部会総会と併催)および冬期例会を開催した。

- 1) 夏期例会(定時部会総会に続いて開催)(平成 30 年 5 月 12 日(土)、於平安ホテル、出席部会員 26 名)
 - ・ 来賓祝辞(京都府計量検定所所長 山口豊己様)
 - ・ 講演・情報交換
「九州地区の指定検定機関への取り組み」
一般社団法人 福岡県計量協会理事 末崎 繁氏
 - ・ 懇親会
- 2) 冬期例会(協会の年賀交歓会の前に開催)(平成 31 年 1 月 9 日(水)、於 Fortune Garden 京都、出席部会員 22 名)
 - ・ 来賓祝辞(京都府計量検定所所長 山口豊己様)
 - ・ 会務報告と今後の予定の報告
 - ・ 講演・情報交換
「自動はかりの検定と管理について」
検定管理者研修 受講者 検査副部長 吉永高志 氏
日計振「自動はかり管理調査委員会」委員 吉川勲 氏
(オブザーバー (株)インダ 田尻祥子様)
 - ・ 懇親会



(4) 講習会・勉強会

計量士の技術向上を図り、計量管理知識を深めるため講習会・勉強会を開催、参加した。

- 1) 分銅の自主校正講習会の開催(平成 31 年 1 月 29 日(火) 於京都府計量検定所、受講者 9 名、講師: 河原紀男氏他部会役員)
JCS 校正を受けた分銅を標準にして、自社の分銅を不確かさを付けて校正を行い計量のトレーサビリティを確保することを目的とした講習会を開催した。
- 2) 計量法近畿計量協議会主催「自動はかりの技術基準についての講習会」に参加(平成 30 年 7 月 12 日(木) ホテルアウリーナ大阪、参加 225 名、京都 20 名)。



講習 1 : 「規制の概要と自動はかりの分類について」

産業技術総合研究所 計量標準普及センター

法定計量管理室長 三倉伸介氏

講習 2 : 「自動はかりの技術基準について」

産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門

計量器試験技術グループ 高橋 豊氏

3) 日本計量振興協会主催の第 17 回全国計量士大会に参加

平成 31 年 2 月 22 日(金) 西鉄グランドホテル

参加者 196 名 (内当協会 5 名)

・メインテーマ「新しい計量制度への取組みの状況と課題」

発表 1 「自動はかり指定検定機関申請への取組み」

清原一樹氏 (福岡県計量協会)

発表 2 「自動はかりに係る計量管理の事例」

吉川勲氏 (当協会)

発表 3 「製造事業所における現場の計量管理の現状と課題」

植手稔氏 (愛知県計量士会)

指定検定機関に関する意見交換等



【5】 京都府指定期検査機関、指定計量証明検査機関

平成 27 年度～平成 29 年度の 3 か年について京都府より指定期検査機関および指定計量証明検査機関として当協会は指定を受けていた。平成 29 年 12 月京都府が計量法に基づく指定期検査機関及び指定計量証明検査機関を募集、当協会は申請書類を提出し、平成 30 年 2 月 28 日付で指定を受けた。指定の期間は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までである。

【6】 社員 (会員) 数の推移

		平成 31 年 4 月 1 日現在	入会	退会	平成 30 年 4 月 1 日現在
計量器工業部会		28	0	1	29
計量管理部会	事業所	40	1	1	40
	販 売	87	0	3	90
計量証明部会		45	0	0	45
環境計量証明部会		17	0	1	18
計量士部会		54	2	2	54
計		271	3	8	276

【7】 平成 30 年度開催理事会

(1) 第一回理事会 (平成 30 年 5 月 29 日(火))

- 1) 平成 30 年総会議案書 (案)
- 2) 平成 30 年度理事長表彰者選考
- 3) 人材育成引当金について
- 4) 職員採用規程 (案)
- 5) その他、報告連絡事項

- (2) 電磁的記録による理事会（平成 30 年 6 月 1 日(金)）
 - 1) 定款第 4 条の変更（案）
- (3) 臨時理事会（平成 30 年 6 月 13 日(水)）
 - 1) 専務理事 1 名選定の件
- (4) 第二回理事会（平成 30 年 7 月 27 日(金)）
 - 1) 平成 30 年度 経済産業省表彰候補者検討
 - 2) 平成 30 年度 京都府知事表彰候補者検討
 - 3) 計量管理者証（案）
 - 4) その他、報告連絡事項
- (5) 電磁的記録による理事会（平成 30 年 8 月 9 日(木)）
 - 1) 計量管理者証について
 - 2) 入会者について
- (6) 第三回理事会（平成 30 年 11 月 13 日(火)）
 - 1) 平成 30 年度上期 事業報告と収支状況報告
 - 2) 最低賃金引上げに伴うパートタイム事務員および臨時職員の給与改定について
 - 3) その他、報告連絡事項
- (7) 第四回理事会（平成 31 年 3 月 8 日(金)）
 - 1) 平成 30 年度着地見込み・平成 31 年度予算（案）
 - 2) 平成 31 年度事業計画（京都府提出用）
 - 3) その他、報告連絡事項